

健康福祉委員会
令和5年9月27日

福祉部 資料48番
所管 福祉管理課

高齢者・障がい者向けマイ・タイムライン講習会

1 目的

自ら避難行動をとることが困難な要配慮者（高齢者・障がい者）にとって、日頃から風水害時に備えた避難に対する準備や心構えは、非常に重要である。

そこで、自分や家族の避難行動計画であるマイ・タイムラインを作成することで、風水害に対する防災意識の一層の向上を図り、要配慮者が適切に避難行動をとれるようにするため、昨年度に引き続き、講習会を実施した。

なお、今年度は、講習会のタイトルを「高齢者・障がい者向け」に変更することで対象者を明確にし、昨年度に引き続きオンライン形式でも行い、より多くの方にご参加いただけるよう取り組んだ。

2 実施報告（日時・会場・参加者数等）

回	日時	会場	対象者	参加者数
1	7月11日（火） 13：30～15：30	消費者生活センター 2階大集会室	高齢者、障がい者及びその 関係者※2	22名
2	7月22日（土） 14：00～16：00	オンライン形式 ※1		18名
3	8月7日（月） 14：00～16：00		高齢者及び障がい者の 支援者等（介護事業者、 地域包括支援センター、 障がい福祉サービス事業 所等）	52 団体
4	8月9日（水） 14：00～16：00		16 団体	

※1…消費者生活センター2階大集会室でも視聴可

※2…手話通訳有り

3 内容

- (1)大田区ハザードマップ（風水害編）について
- (2)区の災害時要配慮者対策について
- (3)高齢者、障がい者向けマイ・タイムラインの作成について
- (4)個別避難計画について

4 受講者の声（抜粋）

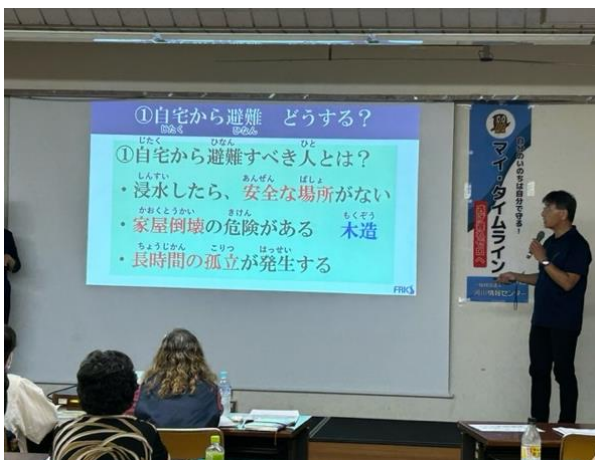
○要配慮者及びその関係者

- ・マンションの上階に住んでいるので避難は考えていなかったが、万が一、停電等が長引いた場合の備えが必要であることを理解できた。
- ・「我が家は大丈夫」と思っていたが、あらかじめ計画を立てようと考え直すきっかけとなった。

○支援者等

- ・施設職員ひとりひとりの意識が重要であると再認識できた。
- ・利用者の避難を考えた時、移動手段の確保やその方のご家族の状況など様々な場面を想定して早めの対策が必要と感じた。
- ・利用者に避難を促しても、なかなか耳を傾けてくれない。どう説得したら良いか、考えてしまう。
- ・自身の安全も考えながら、避難支援がどれだけできるのか実際にイメージが持てていなかった。だからこそマイ・タイムラインの作成が大切と感じた。

【会場実施の様子】



【オンライン実施での様子】

